

町勢状況	
昭和49.2.1現在	
世帯数	1,510戸
人口	5,011人
男	2,318人
女	2,693人

広報たし3

田代町企画室編集 毎月5日 1600部発行

No. 250

昭和49年

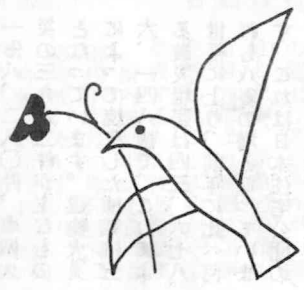
3月号



「冬来りなば
春遠からじ」

三月のこよみ

冷たく暗い
灰色の季節、
それは長く
苦しい試練の毎日であつた。
だが、
それに
耐えた者だけが、
春の歓びを知るのだ。



- 1金 所得税確定申告
- なんぐう農協開所式
- 4月 町畜産振興会役員会
- 5火 町民税申告(28まで)
- 6水 郡植樹祭、民生委員会
- 7木 婦人大会
- 8金 土地改良区役員会
- 未亡人会総会
- 9土 教育委員会 消防訓練
- 10日 田代小学校百周年記念式典
- 12火 定例議会招集
- 13水 公立高校入試
- 14木 養蚕振興大会
- 15金 畜産婦人部定例会
- 16土 中学校卒業式
- 18月 にじます養殖講習会
- 19火 出稼者健康診断
- 21木 春分の日
- 22金 大原小学校卒業式
- 23土 田代小学校卒業式
- 28木 教職員異動内示
- 29金 農業委員会



(第1表) 耕地の状況

	田		畑		茶		園		桑		計		生産 飼育 頭数
	総面積	1戸当	総面積	1戸当	総面積	1戸当	総面積	1戸当	総面積	1戸当	総面積	1戸当	
麓	9.450	31.5	4.617	15.4	1.087	3.6	1.442	4.8	10.596	55.3	180		
川原	13.238	36.2	12.706	34.7	613	1.7	310	0.8	26.867	73.4	546		
大原	7.601	31.7	6.596	27.5	5.752	24.0	700	2.9	20.649	86.1	201		
計	30.289	33.4	23.919	26.4	7.452	8.2	2.452	2.7	64.112	70.7	927		

(第2表) 将来の経営の考え方

	農業専業		農業が主		兼業が主		離農		計	
	戸数	比率	戸数	比率	戸数	比率	戸数	比率	戸数	比率
麓	37	12.3	60	20.0	196	65.3	7	2.4	300	100.0
川原	58	15.8	108	29.5	193	52.7	7	2.0	366	100.0
大原	61	25.4	67	27.9	112	46.7			240	100.0
計	156	17.2	235	25.9	501	55.3	14	1.6	906	100.0

(第3表) 今後の経営規模の考え方

	規模拡大		現状維持		規模縮小		計	
	戸数	比率	戸数	比率	戸数	比率	戸数	比率
麓	67	22.7%	220	73.3%	13	4.0%	300	100.0%
川原	93	25.4	265	72.4	8	2.2	366	100.0
大原	65	27.1	170	70.8	5	2.1	240	100.0
計	225	24.8	655	72.3	26	2.9	906	100.0

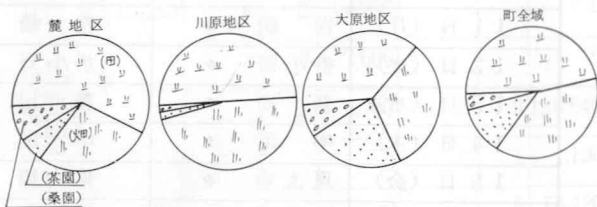
田代小学校屋内運動場完成
鉄筋コンクリート造り
六九一、九㎡

昨年七月から、本町の田代建設株式会社の手に、工費三六、六〇〇千円を以て工事中でありましたが、この程完成しました。工事中、資材不足、価格の値上り等悪条件が山積しましたが、請負者の精力的な努力により順調に工事が完成したことに心から敬意を表するものであります。屋内運動場の完成により田代小学校の施設整備は一応完成いたしました。今後この屋内は児童の体育、学校の各種行事に専ら使用されますが、町の各種

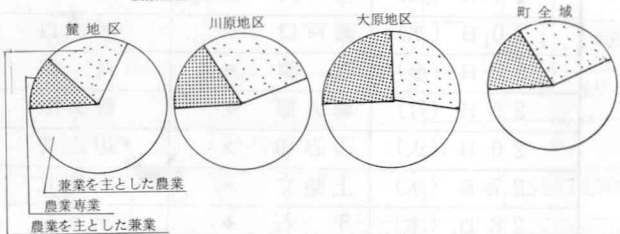


会合にも利用されることになり、この面でも大きな便益が考えられます。

営農形態



農業経営の考え方



農業専業希望は一七%

農家総合指導資料調査まとめ

町は目下農家総合指導事業の推進に当たっていますが、その資料調査の結果がこの程まとまりました。結果の概要を説明いたします。

耕地の状況

一戸平均耕地面積は七〇・七aとなり、一戸平均積は六四・一aで、一戸平均一戸平均の耕地面積が最も大きいのは大原地区、最少は麓地区となっています。部別では富田部の一五八aが最も大きく、最少は

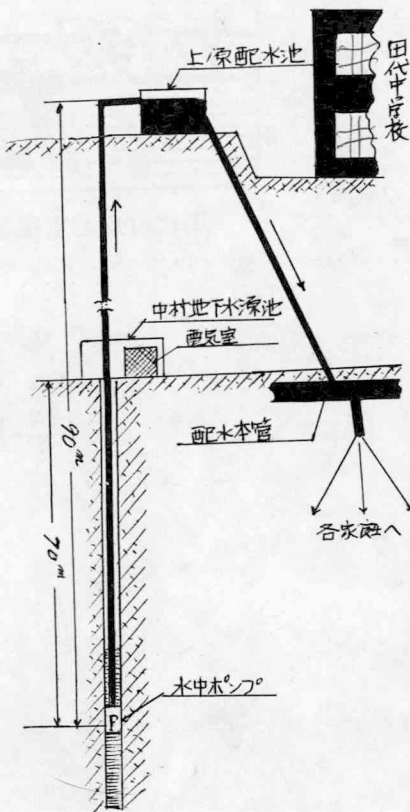
東ノ原部の一五aとなっています。又第一表によって地区別の営農形態を見ると、麓地区は稲作と養蚕、川原地区は稲作と養蚕、大原地区は稲作と茶業と畜産、大原地区は稲作と茶業と畜産とがわ

かります。将来の志向

専業希望は全体の二七%「第二表」は将来の農業経営の考え方を示したもので、この表によると、専業を望んでいる農家は、全体の二七%で残りの七三%の

飲料水不足は解消

簡易水道水源工事完成



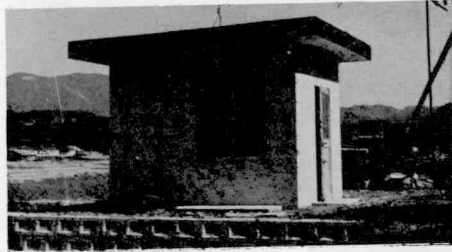
中央地区簡易水道は最近住民の生活水準の向上に伴い使用水量が年々増加し、水不足が心配されるに至り、早急な対策の必要に迫られていました。

このため、いろいろ検討の結果、数年前干害対策用に掘った中村前の地下水源を活用することになり、本年度事業として実施することになりました。

工事計画は、中村前の地下水源（地下約七〇m）の水を水中ポンプで約九〇mの高さまで汲上げ、田代中学校西側の配水池に導き、配水池から既設の配水管

に連結（距離約一〇〇m）して配水しようとするものです。

この工事に要した経費は約一五、〇〇〇千円で、内



円の外、借入金として、国民年金積立金還元融資七、二〇〇千円、過疎債一、七〇〇千円が充てられています。

この工事の完成によって中央地区簡易水道は適当分水不足の心配はなくなり、後にも積極的な協力をお願いいたします。

春の火災予防週間

二月二十八日から三月十三日まで

四八年は戦後最悪の火災の年で、七分間に一回の割合で火災が発生し、一日五人が焼死、住宅四万七千戸が灰になりました。

この程自治省消防庁は「昭和四八年度火災白書」を発表しました。

これによると、昨年は年間を通じて降雨量が少く、異常乾燥が続くという悪条件が重なったため、出火件数死者、損害額とも戦後最悪の記録になり、火災件数も四七年度に比べ一四、一七〇件増の七二、四六一件となっています。

以下白書のあらましを説明します。

火災の六〇%は建物火災

火災の内約六〇%に当る四二、一四六件は建物の火災で、次いで林野火災の一〇八、二八〇件、車輦火災の三九八二件が主なものとなっています。建物火災によって焼失した棟数は五六、一四八棟で、これによる被災世帯は四三、六七八世帯に上り、前年に比べ何れも八%の増となっています。これは日本住宅公団の3DK住宅（一戸五五、三㎡）に換算すると約四七、〇〇〇戸が焼失したことになります。

火災による焼死者も戦後最高で、前年に比べ一八六八人増加し、一八五〇人となっています。特に四八年度の特徴として、デパート火災が多くなっています。

以上が白書のあらましですが、火災の恐ろしさを改めて考えさせられます。又三月は十二月に次いで火災の多い季節です。昔の諺にも「ヌスドは火、火事ヤネコソギ」というのがあります。火災の予防にはお互い充分注意いたしましょう。

この一本が大山火事のもと



納税は早目にすませましょう

48年度納税の滞納状況調べ

(この表にない部落は完納部落です) 昭和49年2月末日現在

区分 部落名	町 県 民 税			固 定 資 産 税			軽 自 動 車 税			国 民 健 康 保 険 税			滞 納 繰 越		
	滞 納 世帯数	滞 納 件数	滞 納 額	滞 納 世帯数	滞 納 件数	滞 納 額	滞 納 世帯数	滞 納 件数	滞 納 額	滞 納 世帯数	滞 納 件数	滞 納 額	滞 納 世帯数	滞 納 件数	滞 納 額
橋ノ口			0			0			0	1	1	20,190			0
山下			0			0	1	1	2500			0			0
表木	1	1	300	3	6	23,800	1	1	500	2	4	23,960	1	2	4,800
山ノ口	1	1	300	5	10	24,760	6	9	8,250	6	16	50,870	2	15	18,640
西大原	1	1	1,200	2	6	5,280			0	7	12	46,850	6	9	6,300
東大原			0			0			0	1	1	10,300	1	1	1,290
中尾	3	3	900	2	4	2000			0	9	15	37,380	9	64	72,050
新田	2	2	320	4	10	9,620	2	2	1,300	12	29	59,490	9	62	34,070
内ノ牧	4	4	1,200	6	12	7,040	1	1	1,000	21	49	115,690	11	101	95,440
重岳			0			0			0			0	3	20	23,340
鵜戸野			0			0			0			0	3	10	28,950
久木野			0			0			0			0	1	1	20
盤山	1	1	600	1	1	1,800			0	8	9	33,000	9	13	9,660
富田	1	1	300	3	9	8,680	1	1	1,000	3	3	7,300	5	15	13,920
平石			0	3	4	4,500	1	1	1,250	3	3	28,510	4	7	4,180
上柴立			0			0			0			0	3	3	680
上原			0			0			0			0	2	15	16,410
池野			0	1	2	5,200	2	4	10,250	1	2	14,200			0
瀬戸口			0	1	1	1,000			0	2	2	7,600			0
早瀬			0	2	3	8,110			0	1	1	4,700	2	49	128,640
郷ノ原			0			0			0			0	1	1	1,130
辺志切			0			0	1	1	370			0	2	6	13,120
鶴園			0			0			0			0	1	1	430
花瀬官行			0			0			0			0	1	1	1,680
麓住宅	1	1	300	33	68	0	1	2	2,000	1	4	18,900	1	5	8,900
大原住宅															
													44	152	173,700
計	15	15	5,420			101,090	18	23	28,420	78	160	478,940	121	553	657,350

鶴園消防団長 消防関係藍綬 褒章授章



鶴園末吉氏は昭和十二年一月田代村消防組消防手を拝命、茲来川原分団分団長昭和二十八年十月から町消防団団長に就任、今日まで実に三十七年間に亘り消防一筋に生きて来られました。その間消防自動車を全分団に配置し、防火水槽の設置や各分団詰所の整備をはかる等消防施設の整備を精力的に推進すると共に、団員の訓練、研修にも積極的に取り組み本町消防の発展に尽力されました。今回その功績が認められ四八年度消防関係藍綬褒章の授章が決定しました。授章は三月一日、東京の日本消防会館ホールにおいて行なわれ、鶴園団長も出席されました。町民と共に氏の榮譽を心から祝福いたすものであります。

昭和49年度 町県民税の申告相談日が決まりました

49年度の町民税県民税の申告相談日が下記のとおり決まりました。申告を必要とする方は、決まった日割によって申告をして下さい。

所得税の申告をされる方は、申告の必要はありません。

もしこの申告を怠りますと、各種控除が受けられない等不利になります。

○申告をしなければならない人

- 49年1月1日現在で田代町に住所のある人
- 町外の人で町内に事務所、事業所等を有する人（法人を含む）

○申告上の注意

- 扶養親族の氏名、生年月日等を予め調べてきてください。
- 耕地は地目、字地番、地積等を調べておきましょう。
- 当日は必ず印かんを持参ください。

町・県民税申告相談日程表

月 日	午前（9時30分から11時まで）		午後（1時30分から3時30分まで）	
	場 所	部 落	場 所	部 落
3月 5日（火）	下 公民館	下	馬 場公民館	馬 場 東ノ原
6日（水）	長 谷 ヌ	長 谷	西中郡 ヌ	西中郡
7日（木）	東中郡 ヌ	東中郡	橋ノ口 ヌ	橋ノ口
8日（金）	中 村 ヌ	中 村	山 下 ヌ	山 下
11日（月）	岩 崎 ヌ	岩 崎	表 木 ヌ	表 木
12日（火）	折小野 ヌ	折小野	山ノ口 ヌ	山ノ口
13日（水）	新 田 ヌ	新 田	内ノ牧 ヌ	内ノ牧 重 岳
14日（木）	中 尾 ヌ	中 尾	久木野 ヌ	久木野
15日（金）	東大原 ヌ	東大原	西大原 ヌ	西大原
18日（月）	鵜戸野 ヌ	鵜戸野	盤 山事務所	盤 山 富 田
19日（火）	原 沢 ヌ	原 沢	池 野公民館	池 野
20日（水）	瀬戸口 ヌ	瀬戸口	猪鹿倉 ヌ	猪鹿倉
22日（金）	鳥 淵 ヌ	鳥 淵	早 瀬 ヌ	早 瀬
25日（月）	郷ノ原 ヌ	郷ノ原	上 原 ヌ	上 原
26日（火）	辺志切 ヌ	辺志切	鶴 園 ヌ	鶴 園
27日（水）	上柴立 ヌ	上柴立	柴 立 ヌ	柴 立
28日（木）	平 石 ヌ	平 石		

出来るだけ指定の日時、場所で申告相談されるよう希望しますが、どうしても当日都合悪い方は最寄りの場所で申告相談して下さい。



もうすぐ一年生

新入学児をもつ母親に

この四月新入学するお子さんのおられる家庭では、通学服や学用品の買揃え等で、あれこれ苦心されていることと思います。

今月は入学前のいろいろな準備や心がけについて述べてみたいと思います。

◎学用品の選び方

ランドセル、机、鉛筆箱等の学用品は、なるべく取扱いの簡単な丈夫なものを選ぶことです。止め金やチャックのカギ等が余り精密にできているものは、取扱いも難しく、故障もやすいので注意しましょう。又特に高価なものはさけて、実用向のものを揃えることです。高価なものは無駄な飾りや不必要な付属品に金をかけていることが多く、高価なものが必ずしもいい物とはいえません。

◎学用品には全て名前を、ランドセル、かさ、運動

靴は勿論、ノート、鉛筆等の学用品にはすべて、組名と名前を書いておきましょう。他人の物との間違いを防ぎ、物を大切にすることを身につけることにも役立ちます。

◎入学前のしつけ

これまでは日常生活の殆んどが母親に頼った形になっているお子さんが多いと思いますが、学校に出るようになると、自分でできることはすべて自分でやるような習慣が必要になります。そこで入学前に次のことはぜひ身につけさせておくようにいたしましょう。

- * 毎日決った時間に起き、決った時間に寝るくせをつける。
- * 毎日歯みがきをする。
- * 着物や服の着替えは自分でする。
- * 自分の持物は自分で整理する
- * 自分の名前がはっきり言え、読め、書ける。

出稼世帯人口

	出稼人口	世帯人口
46	193	197
48	163	165
比較	△30	△32

一時的な現象ではないかと考えられます。

48年度出稼実態調査から四八年度の出稼実態調査がこの程まとまりました。これによると前回の調査に比べ、出稼世帯、出稼人員共に減少していることがわかります。これは石油危機による企業の不況による

出稼者は減少の傾向か？

傾向か？

* 「ハイ」と「イエエ」がはっきり言える。
* 朝夕の「オハヨウ」「オヤスミ」が言える。
* 用便がひとりで行ける。

◎病気の治療

持病のあるお子さんは入学前に必ず治しておきましょう。又うちの子は健康だと思っけていても、入学してから「お宅のお子さんは耳が遠いのでは」と先生から注意されて、子供の難聴に気付くこともあります。充分注意して、異常があったら医師に診て貰っておきましょう。

次に次に出稼農家の経営規模別の出稼状況をみると次表のとおりとなっています。

経営規模別出稼者

(構成比%)

	50a以下	50~100	100以上	計
46	55.3	31.2	13.5	100.0
48	52.3	30.6	17.1	100.0
比較	73.0	22.7	4.3	100.0

これによると、経営規模の比較的大きな農家の出稼は減少し、五〇a以下の農家の出稼は増加しています。これも不況により適当な仕事がなく、中規模以上の農家は出稼を中止したもので一時的な現象ではないかと考えられます。

出稼の理由についても、前回の調査に比べ微妙な変化が現れています。即ち前

出稼理由(構成比%)

	生活資金	その他	計
46	40.1	59.9	100.0
48	60.6	39.4	100.0



交通災害
共済に加入
しよう

交通事故はひとことではありませんが、今年は家族ぐるみで、交通災害共済に加入しましょう。加入期間は三月中となっていますので、係が三月中に各部落を巡回する予定です。

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません